

放射線量測定済 1,588件

4園校の園校庭を除染済、マイクロスポットはこれから



井之川博幸市議

井之川博幸議員は、沼田市除染実施計画に基づく除染実施状況について、また除染実施計画区域外での保育・幼稚園、学校、公園などの除染強化も求めました。

市長は、「7月から公共施設と住宅の空間放射線量測定を行っており、8月末までに1,588件を終えている。マイクロスポットは確認されているが、面的に高い地点は少ない。1小学校庭と1幼稚園庭を除染した」また、「区域外でも、2小学校庭を除染し、マイクロスポットも見つかったので除染の対応を図っていく」と答えました。

セシウムが検出された農地への対策は

井之川議員は、本市内では野生のキノコなどから高い放射線量が検出されており、農産物でも基準値以下ではあるが、時々セシウムが検出されている、農産物への対策とともに、その農地の空間放射線量対策について質しました。

市長は、「一部の農産物について微量のセシウムが検出され」また、「昨年度の土壌調査において市内全域で放射性セシウムが検出され」と、セシウム検出を認め、「今後も安全への対応を図っていきたい」と答えました。

学校給食食材の放射性物質検査を求める

井之川議員は、「学校給食は、調理済み給食の検査ではなく、調理前の食材段階で検査するよう求めました。

教育長は、「これからは、地場産品など、事前に食材で検査できるものについては実施していきたい」と答えました。

子どもと妊産婦の放射性影響検査に助成を

井之川議員は、ホットスポットになっている沼田市などの子どもたちが行なった「甲状腺検査」の結果に、ほとんどの子どもたちに異常が見られることや、栃木県内の自治体でも子どもや妊産婦が放射性物質の影響検査をするときに助成制度を設けていることなどから、本市においても助成制度を実施するよう求めました。

市長は、「群馬県の『放射線による健康への影響に関する有識者会議』によると、福島県の子どもたちの甲状腺検査結果は問題がないと言っている。県内も自然放射線量と変わらず問題はないと言っているので、特に検査を実施する必要はないと判断している」と答えました。

井之川議員は、県の有識者会議のメンバーはほとんどが、原発推進派で、放射線防護学など、放射線から人体を守る研究をしている専門家は少ないこと、福島県の検査結果も約35%に異常が見られ、その異常が今回の放射線によるものなのかを判断するために、影響のない地域の子どもたち4,500人のデータづくりにより国が取り組むことを最近になって決めたことなどを示し、再考を促しました。

市長は、「県の有識者会議の結果を重視しなければならない」などと県の意向には逆らえないという姿勢を示しました。

群馬県「放射線による健康への影響に関する有識者会議」委員名簿

	所属	職名	氏名	備考
1	群馬県健康福祉部	部長	新木 恵一	委員長
2	群馬大学重粒子線医学研究センター	教授（研究センター長）	中野 隆史	
3	群馬大学医学部附属病院	准教授（核医学科）	樋口 徹也	
4	県立がんセンター	放射線治療部長兼重粒子線治療部長	玉木 義雄	
5	県立がんセンター	放射線診断部長	堀越 浩幸	
6	県立県民健康科学大学診療放射線学	教授（学部長）	河原田康尋	
7	県立県民健康科学大学深慮違放射線学	教授	渡邊 直行	
8	日本原子力研究開発機構高崎量子応用研究所	管理部保安全管理課長	藪田 肇	
9	群馬県医師会	理事（川島内科クリニック）	川島 崇	